

質問票回答集計

- A. 日本人専門家対象
- B. CETRACカウンターパート対象
- C. 地元企業・団体対象

A. 日本人専門家に対する
評価 5 項目に関する回答集計

B 評価5項目に関する質問

B.1 効率性 (Efficiency)

実施過程における生産性を把握するために資源の投入（人物、物的、金銭）がどの程度成果に変換されたかを検討する。

a CETRACの管理運営体制の強化

a.6 カリキュラム作成に対する Senior Training について

(注：() 内の数字は回答者数を示す)

Officer の投入

(Senior Training Officer が関与していなければ回答不要です。)

a.1 スリランカ側C/Pの投入

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 人数				80%(4)	20%(1)
2 適性			20%(1)	60%(3)	20%(1)
3 タイミング			20%(1)	60%(3)	20%(1)

a.2 C/P研修員の受入

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 人数		40%(2)	40%(2)	20%(1)	
2 タイミング		40%(2)	40%(2)	20%(1)	
3 派遣期間		40%(2)	40%(2)	20%(1)	
4 研修内容		40%(2)	40%(2)	20%(1)	

a.3 日本側負担予算について

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 規模	40%(2)		20%(1)	40%(2)	

a.4 スリランカ側負担予算について

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 規模			60%(3)	20%(1)	20%(1)

a.5 カリキュラム作成に対するCETRAC管理運営者の投入 (CETRAC管理運営者が関与していなければ回答不要です。)

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 人数			20%(1)	40%(2)	
2 タイミング			20%(1)	40%(2)	

a.6 カリキュラム作成に対する Senior Training Officer の投入 (Senior Training Officer が関与していなければ回答不要です。)

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 人数			60%(3)		
2 専門性			60%(3)		
3 タイミング		20%(2)	60%(3)		

b. マニュアル教材作成について

b.1 CETRAC管理運営者の投入

(CETRAC運営管理者の関与がなければ回答不要です。)

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 人数			20%(1)	20%(1)	
2 タイミング			20%(1)	20%(1)	

b.2 Senior Training Officer の投入

(Senior Training Officer の関与がなければ回答不要です。)

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 人数		40%(2)	20%(1)	20%(1)	
2 専門性		40%(2)	20%(1)	20%(1)	
3 タイミング		20%(1)	20%(1)	20%(1)	

c 建設機械の運営・整備に関するトレーニングシステム及び 継続訓練制度の確立

c.1 日本より無償譲渡された建設機械類について

BM コース

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 譲渡機材の種類	40%(2)	20%(1)	20%(1)		
2 譲渡機材の量	40%(2)	20%(1)		20%(1)	
3 譲渡機材の性能	40%(2)	40%(2)			
4 譲渡機材の投入 タイミング	40%(2)	20%(1)		20%(1)	

MIIコース

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 譲渡機材の種類	60%(3)		20%(1)		
2 譲渡機材の量	60%(3)		20%(1)		
3 譲渡機材の性能	60%(3)		20%(1)		
4 譲渡機材の投入 タイミング	60%(3)		20%(1)		

MIIIコース

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 譲渡機材の種類	60%(3)		20%(1)		
2 譲渡機材の量	60%(3)		20%(1)		
3 譲渡機材の性能	60%(3)		20%(1)		
4 譲渡機材の投入 タイミング	60%(3)		20%(1)		

c.2 上記以外の機器類

(H12年第3四半期の機材の利用、管理状況表に記載されているもの)

BMコース

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 譲渡機材の種類	40%(2)	20%(1)			
2 譲渡機材の量	40%(2)	20%(1)			
3 譲渡機材の性能	40%(2)	20%(1)			
4 譲渡機材の投入 タイミング	20%(1)		20%(1)		20%(1)

MIIコース

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 譲渡機材の種類	40%(2)	40%(2)			
2 譲渡機材の量	40%(2)	40%(2)			
3 譲渡機材の性能	40%(2)	40%(2)			
4 譲渡機材の投入 タイミング	20%(1)	20%(1)	20%(1)		20%(1)

MIIIコース

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 譲渡機材の種類	40%(2)	40%(2)			
2 譲渡機材の量	40%(2)	40%(2)			
3 譲渡機材の性能	40%(2)	40%(2)			
4 譲渡機材の投入 タイミング	20%(1)	20%(1)	20%(1)		20%(1)

c.3 Senior Training Officer の投入について

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 人数		20%(1)	20%(1)	40%(2)	
2 適性		20%(1)		60%(3)	

c.4 Training Officer の投入について

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 人数			40%(2)	40%(2)	
2 適性		20%(1)	40%(2)	20%(1)	

c.5 C/P研修員養成について

項 目	(極めて適正) ← 評価 → (不適正)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
1 人数	20%(1)		20%(1)	40%(2)	
2 タイミング	20%(1)		40%(2)	20%(1)	
3 派遣期間	20%(1)		40%(2)	20%(1)	
4 研修内容	20%(1)		40%(2)	20%(1)	

d 他のより良い手段でもっと安く、もっと早く成果が達成出来たと思いますか？

専門家	そう思う (+) ← 評価 → 思わない (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				↓	
No.2				↓	
No.3	↓				
No.4			↓		
No.5	↓				
No.6					
合計	2		1	2	

[a]又は[b]と答えた方は、具体的に記述願います。

- 植民意識が多い。
- このProject TrainingのModule方式？

B.2 目標達成度 (Effectiveness)

a プロジェクト目標 (CETRAC が建設機械運用・整備に係る人材の育成を行う。) ほどの程度まで達成できたと思いますか？

専門家	完全に達成 (+) ← 評価 → 全く未達成 (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		√			
No.2		√			
No.3				√	
No.4		√			
No.5				√	
合計		3		2	

その他コメント

スリランカ国ではどのような人材を目標としているのか？

b 成果の達成がプロジェクト目標の達成につながっていますか？

専門家	十二分につながっている (+) ← 評価 → 全くつながっていない (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		√			
No.2		√			
No.3				√	
No.4		√			
No.5				√	
合計		3		2	

その他コメント

仕事はいろいろやっているが、色々と問題がある。

c プロジェクト目標が達成されていなければ、その原因は何であり、いつ達成できる見込みがあると思いますか？

(質問 a にて未達成, [d] 又は [e] と回答した方は下記に記述願います)

- 当初のコース設計の不備。
- マネージャー入門コース (CEM・CPM) しかないので、研修の内容が低く実務レベルの実際的な教育ができなかった。
(上級コース・道路コースの新設が必要)
注: メカニックコース (MII・MIII) は 13 コースあるので、技術レベルアップも可能、持続的継続が可能である。
- 国民性 (植民地支配が長い)。
- 人の使い方、やる気 (インセンティブ) を与える。
- CETRAC を含め、運営管理が貧しい (人事管理、経理業務管理)。
- UNION 組合組織が強い。
- カウンターパートの生活苦 (給料が安い)
- 手順のビデオ化を当初より導入すべきであった。
- ローテーションシステムを立ち上げ、これを動かして行くべきである。

達成

⊖ 無

(その理由)

プロジェクト終了時 (2001 年 9 月 30 日)迄の短期間では、上級コース・道路コースのテキスト作成及び C/P 養成は不可能 (1~2 年は必要とする)

B.3 インパクト (Impact)

プロジェクトが実施されたことにより生じる直接的、間接的な正負の効果を検討します。(注。計画当初の予想されない効果も含まれます。)

a. ターゲット・グループの状況はプロジェクトの実施前と比較して変化しましたか？

変化した場合、それは望ましい変化か、または望ましくない変化のどちらでしょうか？

専門家	大いに変化した (+) ← 評価 → 変化しない (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2		√			
No.3				√	
No.4		√			
No.5					
合計		2		1	

変化の具体例を記述願います。

- 卒業生が職場で重宝がられている (大手の民間会社)。
- 自分から率先してトラブル (故障) に対処している。
- 技術レベルの向上。
- 日本という外国を体験したことによる意識改革。

専門家	大変望ましい (+) ← 評価 → 望ましくない (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3				√	
No.4		√			
No.5					
合計		1		1	

b. プロジェクトを実施することにより社会、経済、技術或いは自然環境を変化 (向上又は悪化) させる要因になったと思いますか？

専門家	なっていない (+) ← 評価 → なった (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1	√				
No.2			√		
No.3				√	
No.4		√			
No.5					
合計	1	1	1	1	

具体例があれば記入願います。

- 建設機械に興味があいた。
- 昨年 (2000 年) "TECHNO 2000" 技術見本市をしたとき、CETRAC のブースに 4000 名来場 (3 日間)

B.4 妥協性 (Relevance)

a 設定された目標（成果、プロジェクト目標、上位目標）は評価時点でもスリランカ国の国策に合っているか？

専門家	よくあっている (+) ← 評価 → 合っていない (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1	↓				
No.2		↓			
No.3	↓	↓			
No.4					
No.5		↓			
合計	2	3			

b 上位目標やプロジェクト目標は現時点で受益者 (Target Group) のニーズに合致しているか？

専門家	合致している (+) ← 評価 → 合致していない (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1	↓				
No.2		↓			
No.3		↓			
No.4	↓				
No.5		↓			
合計	2	3			

c 設定された目標や計画は、日本側の援助対策、方針に沿っていると思いますか？

専門家	沿っている (+) ← 評価 → 沿っていない (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1	↓				
No.2		↓			
No.3	↓	↓			
No.4					
No.5		↓			
合計	2	3			

その他コメントがあれば記述願います。

d プロジェクト目標と上位目標は、市場や環境、社会的状況などに照らして、適切と言えるものであったか？

専門家	適切 (+) ← 評価 → 不適切 (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1	↓				
No.2		↓			
No.3		↓			
No.4	↓				
No.5					
合計	2	2			

B.5 自立発展性 (Sustainability)

援助が終了した後も、プロジェクト実施による便益が持続されるかどうかを、検討する。(現時点での予想)

a プロジェクトへのスリランカ側による人的・物的及び財政的投入は、協力終了後も引き続き実施されると思いますか？

専門家	はい (+) ← 評価 → いいえ (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2			↓		
No.3				↓	
No.4				↓	
No.5					↓
合計			2	2	1

b プロジェクトで開始した活動は継続して行われるだろうと思いますか？

専門家	思う (+) ← 評価 → 思わない (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2			↓		
No.3				↓	
No.4				↓	
No.5				↓	
合計			2	3	

c 投入された施設、機材、人材、及び技術移転を受けた人材がプロジェクト終了後も有効に活用されると思いますか？

専門家	活用される (+) ← 評価 → 活用されない (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2		↓			
No.3				↓	
No.4				↓	
No.5				↓	
合計		1	1	3	

d 実施機関/プロジェクト自体がプロジェクト事業を継続する必要な人材、経費を確保していると思いますか？

専門家	思う (+) ← 評価 → 思われる (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				↓	
No.2				↓	
No.3			↓		
No.4					↓
No.5					↓
合計			1	2	1

e プロジェクトの事業及び目標に対し、政府が支援していると思いますか？

専門家	はい (+) ← 評価 → いいえ (-)				
	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2			↓		
No.3		↓			
No.4					↓
No.5				↓	
合計		1	2	1	1

B. カウンターパートに対する
評価 5 項目に関する回答集計

1. CETRAC 運営・管理者対象

2. 訓練教官対象

1. CETRAC 運営・管理者対象

質問表に対する回答は下記の通りである。なお、各表の [a], [b], [c], [d], [e] の意味は下記の通りである。

[a] : 大変満足又は大いに良好

[b] : だいたい満足又は良好

[c] : ふつう

[d] : やや不満

[e] : 不満足

1. 効率性

a. CETRAC の運営・管理システムの体制

a.1. 日本人長期専門家について

1. 専門家の人数

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		×			
No.2			↓		
No.3		↓			
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6			↓		
計		2	3		
%		40	60		

2. 導入時期

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		×			
No.2			↓		
No.3		↓			
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6			↓		
計		2	3		
%		40	60		

a.2. 日本人長期専門家の専門分野について

BM コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		×			
No.2			↓		
No.3	↓				
No.4	↓				
No.5	↓				
No.6					
計	3	1	1		
%	60	20	20		

MII コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			×		
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					
計			5		
%			100		

MIII コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2				↓	
No.3			↓		
No.4		↓			
No.5			↓		
No.6					
計		1	3	1	
%		20	60	20	

管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					↓
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					
計			4		1
%			80		20

運営（活用）コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					↓
No.2				↓	
No.3					
No.4					
No.5					
No.6					
計				1	1
%				50	50

運営（維持）コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					↓
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					
計			4		1
%			80		20

在庫品管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					↓
No.2			↓		
No.3					
No.4					↓
No.5					
No.6					
計			1		2
%			33.3		66.6

記録簿管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					✓
No.2			✓		
No.3					
No.4					✓
No.5					
No.6					
計			1		2
%			33.3		66.6

a.3. 長期専門家の指導能力について

BM コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		✓			
No.2				✓	
No.3	✓				
No.4	✓				
No.5		✓			
No.6					
計	2	2		1	
%	40	40		20	

M II コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		✓			
No.2				✓	
No.3		✓			
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6					
計		2	2	1	
%		40	40	20	

M III コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2				✓	
No.3			✓		
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6					
計			4	1	
%			80	20	

管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					✓
No.2				✓	
No.3					
No.4				✓	
No.5				✓	
No.6					
計				3	1
%				75	25

運営（活用）コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					✓
No.2				✓	
No.3					
No.4					
No.5					
No.6					
計				1	1
%				50	50

運営（保守）コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					✓
No.2				✓	
No.3			✓		
No.4				✓	
No.5				✓	
No.6					
計			1	3	1
%			20	60	20

記録簿管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					✓
No.2				✓	
No.3					
No.4					✓
No.5					
No.6					
計				1	2
%				33.3	66.6

在庫品管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					✓
No.2				✓	
No.3					
No.4					✓
No.5					
No.6					
計				1	2
%				33.3	66.6

a.4. 日本人短期専門家について

1. 専門家の人数

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2		✓			
No.3		✓			
No.4		✓			
No.5		✓			
No.6					
計		4	1		
%		80	20		

2. 導入時期

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		↓			
No.2			↓		
No.3				↓	
No.4				↓	
No.5				↓	
No.6					
計		1	1	3	
%		20	20	60	

3. 訓練期間

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		↓			
No.2			↓		
No.3					↓
No.4					↓
No.5					↓
No.6					
計		1	1		3
%		20	20		60

a.5. 日本人短期専門家の評価について

1. 専門技術

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		↓			
No.2		↓			
No.3		↓			
No.4		↓			
No.5	↓				
No.6					
計	1	4			
%	20	80			

4. カリキュラム

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2				↓	
No.3			↓		
No.4		↓			
No.5				↓	
No.6					
計		1	2	2	
%		20	40	40	

a.7. 日本側負担の予算について

1. 予算額

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1	↓				
No.2		↓			
No.3	↓				
No.4	↓				
No.5	↓				
No.6	↓				
計	5	1			
%	80	20			

2. 指導能力

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		↓			
No.2			↓		
No.3		↓			
No.4				↓	
No.5		↓			
No.6					
計		3	1	1	
%		60	20	20	

a.8. スリランカ側負担の予算について

1. 予算額

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2				↓	
No.3	↓				
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					↓
計	1		3	1	1
%	16.6		50	16.6	16.6

a.6. C/Pの日本における訓練について

1. 人数

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		↓			
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					
計		1	4		
%		20	80		

a.9. カリキュラムの質について

BM コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		↓			
No.2			↓		
No.3		↓			
No.4		↓			
No.5		↓			
No.6					
計		4	1		
%		80	20		

M II コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2				✓	
No.3			✓		
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6					
計			4	1	
%			80	20	

M III コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2				✓	
No.3			✓		
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6					
計			4	1	
%			80	20	

管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2				✓	
No.3			✓		
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6					
計			3	2	
%			60	40	

運営（活用）コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2				✓	
No.3			✓		
No.4				✓	
No.5					
No.6					
計			1	3	
%			25	75	

運営（保守）コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2				✓	
No.3		✓			
No.4		✓			
No.5				✓	
No.6					
計		2	1	2	
%		40	20	40	

記録簿管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2				✓	
No.3					
No.4		✓			
No.5					
No.6					
計		1		2	
%		33.3		66.7	

在庫品管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2				✓	
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
計			1	2	
%			33.3	66.7	

a.10. 日本人長期専門家によるカリキュラム作成への貢献度について

1. 専門家の人数

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		✓			
No.2				✓	
No.3					✓
No.4					✓
No.5					✓
No.6					
計		1		1	3
%		20		20	60

2. 専門技術

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		✓			
No.2				✓	
No.3			✓		
No.4					✓
No.5					✓
No.6					
計		1	1	1	2
%		20	20	20	40

3. 導入時期

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		✓			
No.2				✓	
No.3					✓
No.4					✓
No.5					✓
No.6					
計		1		1	3
%		20		20	60

b. 訓練用マニュアル/教材の作成について

b.1. マニュアル/教材の質

BM コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		↓			
No.2			↓		
No.3		↓			
No.4		↓			
No.5		↓			
No.6					
計		4	1		
%		80	20		

M II コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2				↓	
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					
計			4	1	
%			80	20	

M III コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2				↓	
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					
計			4	1	
%			80	20	

管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2				↓	
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					
計			4	1	
%			80	20	

運営（活用）コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2				↓	
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5					
No.6					
計			3	1	
%			75	25	

運営（保守）コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2				↓	
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					
計			4	1	
%			80	20	

記録簿管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2				↓	
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5					
No.6					
計			3	1	
%			75	25	

在庫品管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2				↓	
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5					
No.6					
計			3	1	
%			75	25	

b.2. 日本人長期専門家による貢献度について

1. 専門家の人数

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2				↓	
No.3				↓	
No.4					↓
No.5					↓
No.6					
計			1	2	2
%			20	40	40

2. 専門技術

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				↓	
No.2				↓	
No.3					↓
No.4					↓
No.5					↓
No.6					
計				2	3
%				40	60

3. 導入時期

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2				↓	
No.3					↓
No.4					↓
No.5					↓
No.6					
計			1	1	3
%			20	20	60

b.3. 日本人短期専門家による貢献度について

1. 専門家的人数

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2			↓		
No.3					↓
No.4			↓		
No.5					↓
No.6					
計			3		2
%			60		40

2. 専門技術

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2			↓		
No.3					↓
No.4			↓		
No.5					↓
No.6					
計			3		2
%			60		40

3. 導入時期

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2			↓		
No.3					↓
No.4			↓		
No.5					↓
No.6					
計			3		2
%			60		40

c. 訓練システムの立ち上げと訓練の継続実施

c.1. 日本人長期専門家による貢献度について

1. 専門家的人数

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		↓			
No.2		↓			
No.3		↓			
No.4		↓			
No.5			↓		
No.6					
計		4	1		
%		80	20		

2. 専門技術

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				↓	
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					
計			4	1	
%			80	20	

3. 導入時期

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					
計			5		
%			100		

c.2. 日本人短期専門家による貢献度について

1. 専門家的人数

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		↓			
No.2			↓		
No.3				↓	
No.4				↓	
No.5				↓	
No.6					
計		1	1	3	
%		20	20	60	

2. 専門技術

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		↓			
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					
計		1	4		
%		20	80		

3. 導入時期

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		↓			
No.2			↓		
No.3				↓	
No.4			↓		
No.5				↓	
No.6					
計		1	2	2	
%		20	40	40	

2. 目標達成度

- a. プロジェクトの目標はどの程度まで達成できたとおもいますか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2			✓		
No.3			✓		
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6			✓		
計			6		
%			100		

- b. 成果の達成が目標の達成につながっていますか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2				✓	
No.3			✓		
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6			✓		
計			5	1	
%			83.4	16.6	

- c. プロジェクト達成に遅れをもたらした要因は何だと思えますか？

- 長期専門家の経験不足により、訓練計画の質がよくなかったから。
- 訓練生のほとんどが建設機械の維持業務に係わり合っているわけではない。彼らは関連するすべての訓練コースに参加する機会がないため。
- 訓練する職員の仕事に対する満足感の欠如。
- センター職員の熱意がない。
- 管理者が訓練する職員の意見を無視している。

- d. プロジェクトの目標はいつごろ達成されると思いますか？

- 産業界のすべての建設機械保守要員がセンターで訓練を受け終わったとき。
- 訓練計画に建設機械の機械工がもっと参加した後。
- 訓練する側のスタッフの実用的知識が更に備わった時。

3. インパクト

- a. ターゲットグループの状況はプロジェクト実施後何らかの変化がありましたか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2				✓	
No.3		✓			
No.4		✓			
No.5		✓			
No.6		✓			
計		4	1	1	
%		66.7	16.6	16.6	

コメント

- ターゲットグループはスリランカにおいて訓練する機会を得た。
- b. それらの変化はターゲットグループにとって好ましい変化ですかそれとも好ましくない変化ですか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		✓			
No.2				✓	
No.3		✓			
No.4		✓			
No.5		✓			
No.6				✓	
計		4		2	
%		66.7		33.3	

- c. 何らかの社会的、経済的、技術的或いは環境的インパクトが見られましたか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2			✓		
No.3		✓			
No.4		✓			
No.5		✓			
No.6		✓			
計		4	2		
%		66.7	33.3		

コメント

- 建設機械の修理費が削減された。
- 建設機械を活用する度合いが増えた

4. 妥当性

a. 目的がスリランカの開発政策に合致していますか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1	✓				
No.2		✓			
No.3	✓				
No.4	✓				
No.5	✓				
No.6					
計	4	1			
%	80	20			

b. 目的がターゲットグループのニーズと合致していますか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1	✓				
No.2		✓			
No.3	✓				
No.4	✓				
No.5	✓				
No.6		✓			
計	4	2			
%	66.7	33.3			

c. 目的がドナー国の援助政策、またはドナー派遣団や援助機構の援助政策と合致していますか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1	✓				
No.2		✓			
No.3	✓				
No.4	✓				
No.5	✓				
No.6		✓			
計	4	2			
%	66.7	33.3			

d. プロジェクトの目的や上位目標は予想される市場や環境・社会状況を考慮して適正ですか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1	✓				
No.2			✓		
No.3		✓			
No.4		✓			
No.5		✓			
No.6			✓		
計	1	3	2		
%	16.6	50	33.3		

5. 自立発展性

a. あなたは実施機関が事業継続のために必要な資金や人的資源を確保（運営能力も含む）すると思いますか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		✓			
No.2			✓		
No.3				✓	
No.4				✓	
No.5				✓	
No.6				✓	
計		1	1	4	
%		16.6	16.6	66.7	

b. あなたはプロジェクト完了後も事業は継続されると思いますか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		✓			
No.2			✓		
No.3				✓	
No.4				✓	
No.5				✓	
No.6			✓		
計		1	2	3	
%		16.6	33.4	50	

c. あなたはプロジェクトのインプット（施設、機材、マンパワー、移転された技術）がプロジェクト完了後も十分活用されると思いますか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1		✓			
No.2			✓		
No.3				✓	
No.4				✓	
No.5				✓	
No.6				✓	
計		1	1	4	
%		16.6	16.6	66.7	

d. プロジェクト完了後も政治的支援が得られるでしょうか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2			✓		
No.3			✓		
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6			✓		
計			5	1	
%			83.3	16.6	

2. 訓練教官対象

CETRAC の運営・管理システムの立上げ

a.1. 日本人長期専門家について

1. 専門家の人数

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2			✓		
No.3			✓		
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6					
No.7					
No.8					
No.9	✓				
計	1		5		
%	16.6		83.4		

2. 導入時期

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2			✓		
No.3			✓		
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6					
No.7					
No.8					
No.9			✓		
計			6		
%			100		

a.2. 日本人長期専門家の専門技術について

BMコース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2					
No.3		✓			
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6	✓				
No.7	✓				
No.8	✓				
No.9		✓			
計	3	2	3		
%	37.5	25	37.5		

MII コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6			✓		
No.7			✓		
No.8			✓		
No.9					
計			5	1	
%			83.4	16.6	

MIII コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6			✓		
No.7					
No.8			✓		
No.9					
計			5		
%			100		

管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1	1	
%			50	50	

運営（活用）コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

運営（保守）コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1	1	
%			50	50	

在庫品管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

記録簿管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

a.3. 日本人長期専門家の指導能力

BMコース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2					
No.3	✓				
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6					
No.7	✓				
No.8	✓				
No.9	✓				
計	4		2	1	
%	57.1		28.6	14.3	

MII コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6					
No.7			✓		
No.8			✓		
No.9					
計			4	1	
%			80	20	

MIII コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5			✓		
No.6					
No.7			✓		
No.8			✓		
No.9					
計			4	1	
%			80	20	

管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1	1	
%			50	50	

運営（活用）コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

運営（保守）コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1	1	
%			50	50	

在庫品管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			↓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

記録簿管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			↓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

a.4. 日本人短期専門家について

専門家の人数

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6		↓			
No.7		↓			
No.8			↓		
No.9			↓		
計		2	7		
%		22.2	78.8		

導入の時期

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				↓	
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6		↓			
No.7		↓			
No.8			↓		
No.9			↓		
計		2	6	1	
%		22.2	66.7	11.1	

a.5. 日本人短期専門家の評価について

専門技術

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2			↓		
No.3		↓			
No.4			↓		
No.5		↓			
No.6			↓		
No.7			↓		
No.8			↓		
No.9	↓				
計	1	2	6		
%	11.1	22.2	66.7		

指導能力

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6			↓		
No.7			↓		
No.8			↓		
No.9	↓				
計	1		8		
%	11.1		88.9		

a.6. カウンターパートの日本での訓練

人数

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				↓	
No.2				↓	
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					↓
No.7					↓
No.8					↓
No.9					
計			3	2	3
%			37.5	25	37.5

時期

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				↓	
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6				↓	
No.7				↓	
No.8				↓	
No.9					
計			4	4	
%			50	50	

訓練期間

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				↓	
No.2				↓	
No.3				↓	
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6					↓
No.7					↓
No.8					↓
No.9					
計			2	2	4
%			25	25	50

カリキュラム

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				↓	
No.2					
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5				↓	
No.6				↓	
No.7				↓	
No.8					↓
No.9					
計			2	4	1
%			28.6	57.1	14.3

b. 訓練システムの確立と訓練の継続実施

b.1. 日本人長期専門家の貢献

1. 専門家の人数

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6			↓		
No.7			↓		
No.8			↓		
No.9					
計			8		
%			100		

2. 専門技術

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				↓	
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6				↓	
No.7				↓	
No.8				↓	
No.9					
計			4	4	
%			50	50	

3. 導入時期

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				↓	
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6		↓			
No.7			↓		
No.8			↓		
No.9					
計		1	6	1	
%		12.5	75	12.5	

b.2. 日本人短期専門家の貢献

1. 専門家の人数

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				↓	
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6			↓		
No.7			↓		
No.8			↓		
No.9					
計			7	1	
%			87.5	12.5	

2. 専門技術

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			↓		
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6			↓		
No.7			↓		
No.8			↓		
No.9					
計			8		
%			100		

3. 導入時期

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				↓	
No.2			↓		
No.3			↓		
No.4			↓		
No.5			↓		
No.6			↓		
No.7			↓		
No.8			↓		
No.9					
計			7	1	
%			87.5	12.5	

b.3. 上級訓練職員

専門技術

MII コース（トルク）

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6		✓			
No.7		✓			
No.8					
No.9					
計		2	1		
%		66.7	33.3		

MII コース（車台）

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6		✓			
No.7		✓			
No.8					
No.9					
計		2	1		
%		66.7	33.3		

MIII コース（油圧機器・機械整備）

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6		✓			
No.7		✓			
No.8		✓			
No.9					
計		3	1		
%		75	25		

MIII コース（動力伝達機構）

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6		✓			
No.7		✓			
No.8					
No.9					
計		2	1		
%		66.7	33.3		

MIII コース（トラック）

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6		✓			
No.7		✓			
No.8					
No.9					
計		2	1		
%		66.7	33.3		

MII & MIII コース（ディーゼル燃料）

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

メカトロニクス コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

在庫品管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

記録簿管理 コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			↓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

MIII コース (動力伝達機構)

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			↓		
No.5					
No.6		↓			
No.7		↓			
No.8					
No.9					
計		2	1		
%		66.7	33.3		

指導能力

M II コース (トルク)

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			↓		
No.5					
No.6		↓			
No.7		↓			
No.8					
No.9					
計		2	1		
%		66.7	33.3		

MIII コース (トラック)

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			↓		
No.5					
No.6		↓			
No.7		↓			
No.8					
No.9					
計		2	1		
%		66.7	33.3		

MII コース (車台)

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			↓		
No.5					
No.6		↓			
No.7		↓			
No.8					
No.9					
計		2	1		
%		66.7	33.3		

M II & M III コース (ディーゼル燃料)

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			↓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

MIII コース (油圧機器・機械整備)

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			↓		
No.5					
No.6		↓			
No.7		↓			
No.8		↓			
No.9					
計		3	1		
%		75	25		

メカトロニクス コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			↓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

在庫品管理コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

記録簿管理 コース

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1					
No.2					
No.3					
No.4			✓		
No.5					
No.6					
No.7					
No.8					
No.9					
計			1		
%			100		

2. 目標達成度, 3. インパクト及び4. 計画の妥当性については質問対象から除外。

5. 自立発展性

a. あなたは実施機関が事業の継続のために必要な資金を確保したり、人的資源を確保したり（運営能力を含む）すると思いますか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2				✓	
No.3			✓		
No.4			✓		
No.5				✓	
No.6			✓		
No.7			✓		
No.8			✓		
No.9					
計			5	3	
%			62.5	37.5	

b. あなたはプロジェクト完了後も事業は継続されると思いますか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2				✓	
No.3				✓	
No.4			✓		
No.5				✓	
No.6			✓		
No.7			✓		
No.8			✓		
No.9					
計			5	3	
%			62.5	37.5	

c. あなたはプロジェクトのインプット（施設、機材、マンパワー、移転された技術）がプロジェクト完了後も十分活用されると思いますか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1				✓	
No.2				✓	
No.3				✓	
No.4			✓		
No.5				✓	
No.6				✓	
No.7				✓	
No.8				✓	
No.9					
計			1	7	
%			12.5	87.5	

d. プロジェクト完了後も政治的支援が得られるでしょうか？

回答者	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]
No.1			✓		
No.2				✓	
No.3			✓		
No.4			✓		
No.5				✓	
No.6					✓
No.7					✓
No.8					✓
No.9					
計			3	2	3
%			37.5	25	37.5

C. 地元企業団体等に対する現地調査回答集計

1. 2001年5月23日実施分

(現地調査その1)

2. 2001年5月15日～5月18日実施分

(現地調査その2)

1. 2001年5月23日実施調査質問に
対する回答集計（現地調査その1）

経営者（又は責任者）対象

官民別	分類	No.	団体名	回答																訓練生数							
				項目1			項目2				項目3			項目4			項目5				R/D	out of R/D					
				a	b	c	a	b	c	d	a	b	c	a	b	c	a	b	c	d							
民	修理	1	SENOK																								
民	修理	2	UTE	1				1				1	1														3
民	修理	3	DIMO	1				1				1	1														17
民	修理	4	CA & CO.	1				1				1	1											1			2
			修理 小計	3	0	0	0	1	2	0	0	1	2	3	0	0	0	0	0	0	1						
民	施工	1	ICC	1				1		1		1															31
民	施工	2	CML EDWARDS	1				1				1	1														25
民	施工	3	NAYANAKKARA	1			1				1		1														15
			施工 小計	3	0	0	1	1	1	0	2	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0						
官	港湾	1	Sri Lanka Port Authority	1					1	1		1	1														230
官	リーフ	2	NEMO	1				1				1	1							1							38
官	道路	3	RDA	1				1				1	1														19
			官公庁 小計	3	0	0	0	2	0	1	1	2	1	3	0	0	0	0	1	0	0						
民7 官3	合計			9	0	0	1	4	3	1	3	4	3	9	0	0	0	1	0	1							

注1. 質問内容は次ページ参照。

注2. SENOKの回答未入手。

質 問 事 項

項目 1

貴社はCETRAC訓練を通して満足な結果を得ていますか？

- a. はい（我々は結果に満足している）
- b. いいえ（我々は結果に満足していない）
- c. どちらとも言えない

項目 2

貴社は訓練を通してどのような効果／利点を期待していますか？

- a. 新しい機械を導入するにあたり期待しうる機械性能を審査、評価すること
- b. 故障したときに出来るだけ迅速にそれを修理すること
- c. 建設機械保守部門の要となるように、自社の社員をCETRACにて訓練してもらうこと
- d. その他

項目 3

CETRACでの訓練が貴社に対しどのような効果を及ぼしたでしょうか？

- a. 建設機械の保守レベルが向上した
- b. 建設機械が故障したときに非常に迅速に修理出来るようになった
- c. 我々のCETRAC訓練生が建設機械保守を担当するキーパーソンになった

項目 4

CETRACの訓練コースに貴社の従業員を更に送り込む計画をお持ちですか？

- a. はい
- b. いいえ
- c. 現在考慮中

項目 5

上記項目5で b. (いいえ) 或いは c. (現在考慮中)とお答えになった方に、その理由はなんですか？

- a. 全然効果がなかったから
- b. 訓練費用が高いから
- c. 登録の書類作成が複雑だから
- d. 訓練を終了後、その訓練を受けた従業員が会社を辞めるから

質問 6

もしCETRACに対する要望があれば下に書いて下さい。

ありがとうございました。

2. 2001年5月15日～5月18日
実施調査質問に対する回答集計
(現地調査その2)

- 2-1 経営者（又は責任者）対象
- 2-2 上級コース受講者対象
- 2-3 BM コース受講者対象

2-1 経営者（又は責任者）対象

経営者（又は責任者）対象

1. 貴社の企業形態（注：%の値は回答総数に対するものを表示）

	公営	半民半官	私企業
No. 1			1
No. 2			1
No. 3			1
No. 4			1
No. 5			1
No. 6			1
No. 7	1		
計	1		6
%	14%		86%

2. 業務の分野

	建設	建設機械	灌漑農業	航空 海運 港湾	その他
No. 1		1			
No. 2	1	1	1		
No. 3		1			
No. 4					1
No. 5		1			
No. 6		1			
No. 7		1			
計	1	6	1		1
%	11%	67%	11%		11%

3. CETRAC訓練生を何名ぐらい雇用したいですか？（終身雇用ベース）

	0名	1名	2名	3名	4名以上
No. 1	1				
No. 2					1
No. 3			1		
No. 4					
No. 5					
No. 6					
No. 7		1			
計	1	1	1		1
%	25%	25%	25%		25%

4. 来年のOJTには何名のCETRAC訓練生を受容していただけですか？

	0名	1名	2名	3名	4名以上
No. 1	1				
No. 2					1
No. 3				1	
No. 4					
No. 5					1
No. 6					1
No. 7					1
計	1			1	4
%	17%			17%	67%

5. 貴社の管理者が必要とする訓練の分野はどれですか？

	油圧機器	動力/電気	車台	エンジン燃料系統	その他
No. 1	1	1			
No. 2					1
No. 3		1			
No. 4		1		1	
No. 5					
No. 6					
No. 7	1	1		1	
計	2	4		2	1
%	22%	44%		22%	11%

6. 貴社の現場監督が必要とする訓練の分野はどれですか？

	油圧機器	動力/電気	車台	エンジン燃料系統	その他
No. 1	1	1			
No. 2		1			
No. 3			1		
No. 4					
No. 5	1	1			
No. 6					1
No. 7	1	1		1	
計	3	4	1	1	1
%	30%	40%	10%	10%	10%

7. 貴社の機械整備工が必要とする訓練の分野はどれですか？

	油圧機器	動力/電気	車台	エンジン燃料系統	その他
No. 1	1	1			
No. 2					
No. 3	1				
No. 4		1		1	
No. 5	1	1			
No. 6					1
No. 7	1	1		1	
計	4	4		2	1
%	36%	36%		18%	9%

8. 過去において貴社は何名の機械整備工をCETRACへ訓練のために送り出しましたか？

	0名	1名	2名	3名	4名以上
No. 1					1
No. 2					1
No. 3			1		
No. 4					1
No. 5					1
No. 6	1				
No. 7					1
計	1		1		5
%	14%		14%		71%

9. CETRAC訓練コースの費用について

	高すぎる	高い	適正である	安い	安すぎる
No.1			1		
No.2			1		
No.3			1		
No.4			1		
No.5			1		
No.6			1		
No.7			1		
計			7		
%			100%		

13. 訓練が貴社に貢献したとお考えですか？

	全然貢献していない	貢献度は低い	普通	貢献している	非常に貢献している
No.1				1	
No.2				1	
No.3			1		
No.4				1	
No.5				1	
No.6			1		
No.7				1	
計			2	5	
%			29%	71%	

10. 将来貴社は何名の機械整備工をCETRACへ訓練のために送り出そうと考えていますか？

	0名	1名	2名	3名	4名以上
No.1					1 (30名, 3年間)
No.2					1 (15名~20名)
No.3				1	
No.4					1 (5名)
No.5					1 (5名)
No.6					
No.7					1 (8名)
計				1	5
%				17%	83%

11. もしCETRACが夜間コースを設けた場合、貴社は何名の訓練生を出そうと思いますか？

	0名	1名	2名	3名	4名以上
No.1					1 (40名, 3年間)
No.2		1			
No.3			1		
No.4					1 (4名)
No.5		1			
No.6		1			
No.7		1			
計	4	1			2
%	57%	14%			29%

12. もしCETRACが週末コース（土曜日・日曜日）を設けた場合、貴社は何名の訓練生を出そうと思いますか？

	0名	1名	2名	3名	4名以上
No.1					1 (40名, 3年間)
No.2		1			
No.3			1		
No.4					1 (5名)
No.5		1			
No.6		1			
No.7					1 (8名)
計	3	1			3
%	43%	14%			43%

2-2 上級コース受講者対象

上級者コース

1. 貴社の企業形態（注：%の値は回答総数に対するものを表示）

	公営	半民半官	私企業	受講コース名
No. 1	1			監督
No. 2	1			建機管理
No. 3	1			同上
No. 4		1		油圧機器（MⅢ）
No. 5		1		同上（MⅡ）
No. 6		1		記録保持
No. 7		1		在庫管理
No. 8		1		建機管理
No. 9		1		同上
No. 10	1			トルコン（MⅡ）
No. 11		1		油圧（MⅢ）
No. 12		1		施工管理
No. 13		1		監督
No. 14	1			トラック（MⅡ）
No. 15			1	電気（MⅡ）
No. 16			1	エンジン（MⅡ）
No. 17			1	建機管理
No. 18			1	同上
No. 19			1	記録保持
No. 20			1	燃料（MⅡ）
計	5	9	6	
%	25%	45%	30%	

3. 貴社の管理者が必要とする訓練の分野はどれですか？

	油圧機器	幼少児 電気	車台	エンジン 燃料系統	その他
No. 1	1	1			
No. 2		1			
No. 3		1			
No. 4		1			
No. 5		1			
No. 6					1
No. 7					1
No. 8	1	1			
No. 9	1	1			
No. 10	1	1			1
No. 11	1	1		1	
No. 12	1				
No. 13	1	1	1	1	
No. 14					
No. 15		1			
No. 16					
No. 17	1	1			
No. 18	1	1			
No. 19					
No. 20		1			
計	9	14	1	2	3
%	31%	48%	3%	7%	10%

2. 業務の分野

	建設	建設機械	灌漑 農業	航空・海運・港湾	その他
No. 1					1
No. 2		1			
No. 3		1			
No. 4		1			
No. 5		1			
No. 6		1			
No. 7		1			
No. 8		1			
No. 9		1			1
No. 10		1			
No. 11	1				
No. 12	1				
No. 13	1				
No. 14	1	1			
No. 15					1
No. 16					1
No. 17	1				
No. 18	1				
No. 19	1				
No. 20					
計	7	10			4
%	33%	48%			19%

4. 貴社の現場監督が必要とする訓練の分野はどれですか？

	油圧機器	幼少児 電気	車台	エンジン 燃料系統	その他
No. 1					1
No. 2		1			
No. 3					
No. 4		1			
No. 5					1
No. 6					1
No. 7					1
No. 8	1	1			
No. 9	1			1	
No. 10	1	1		1	1
No. 11	1	1		1	
No. 12					
No. 13	1	1	1	1	
No. 14					
No. 15					
No. 16					
No. 17		1			
No. 18		1			
No. 19					
No. 20		1			
計	5	9	1	4	5
%	21%	38%	4%	17%	21%

5. 貴社の機械工が必要とする訓練の分野はどれですか？

	油圧機器	幼トコ入 電気	車台	エンジン 燃料系統	その他
No. 1	1	1			
No. 2		1			
No. 3	1	1			
No. 4		1			
No. 5	1	1		1	
No. 6					1
No. 7					1
No. 8	1				
No. 9	1			1	
No. 10	1			1	1
No. 11	1			1	
No. 12					
No. 13	1	1	1	1	
No. 14					1
No. 15					
No. 16				1	
No. 17	1	1			
No. 18	1	1			
No. 19					
No. 20					
計	10	8	1	6	4
%	34%	28%	3%	21%	14%

8. CETRAC訓練の弱いと思われる分野

	油圧機器	幼トコ入 電気	車台	エンジン 燃料系統	その他
No. 1					1
No. 2			1		
No. 3		1			
No. 4					1
No. 5			1		
No. 6		1			1
No. 7					
No. 8		1			
No. 9		1			
No. 10					
No. 11					1
No. 12					1
No. 13					
No. 14					1
No. 15					1
No. 16					1
No. 17					1
No. 18					
No. 19					
No. 20		1			
計		5	2		9
%		31%	13%		56%

6. CETRAC訓練の強いと思われる分野

	油圧機器	幼トコ入 電気	車台	エンジン 燃料系統	その他
No. 1	1				
No. 2	1				
No. 3					1
No. 4			1		
No. 5		1			
No. 6					1
No. 7					
No. 8	1				
No. 9	1				
No. 10	1				
No. 11	1	1			
No. 12					1
No. 13	1	1	1	1	
No. 14					1
No. 15		1		1	
No. 16					1
No. 17			1		
No. 18		1			
No. 19					
No. 20	1				
計	8	5	3	2	5
%	35%	22%	13%	9%	22%

9. 上記8に関するコメント意見

- ・ポンプ、コンプレッサー、コンクリートミキサー、岩削機、道路用機械の使用をはかるべきである。
- ・メカニック部分は十分でない。
- ・師匠配分が十分でない。
- ・資機材が十分でない。
- ・デモンストレーターの知識が十分でない。
- ・トレーニングの時間不足

7. 上記6に関するコメント意見

- ・明瞭な挿絵が必要である。
- ・もっと実際のトレーニングを実施すべきである。
- ・実技時間が十分でない。
- ・10輪車輛、軽車輛、ワイヤリングシステムの維持方法等のトレーニングが十分でない。
- ・時間が短い。

10. CETRAC訓練コースプログラム（理論）の時間配分は？

	短すぎる	短い	普通	長い	長すぎる
No. 1		1			
No. 2				1	
No. 3			1		
No. 4		1			
No. 5	1				
No. 6		1			
No. 7		1			
No. 8			1		
No. 9		1			
No. 10			1		
No. 11			1		
No. 12			1		
No. 13	1				
No. 14		1			
No. 15		1			
No. 16		1			
No. 17			1		
No. 18				1	
No. 19			1		
No. 20		1			
計	2	9	7		2
%	10%	45%	35%	10%	

11. 上記10に関するコメント意見

- ・時間配分不十分。

12. CETRAC訓練コースプログラム（実技）の時間配分は？

	短すぎる	短い	普通	長い	長すぎる
No. 1		1			
No. 2	1				
No. 3	1				
No. 4		1			
No. 5	1				
No. 6	1				
No. 7	1				
No. 8			1		
No. 9		1			
No. 10		1			
No. 11		1			
No. 12	1				
No. 13		1			
No. 14		1			
No. 15					
No. 16		1			
No. 17			1		
No. 18		1			
No. 19			1		
No. 20	1				
計	7	9	3		
%	37%	47%	16%		

13. 上記12に関するコメント意見

- ・もっと実技時間配分を長くすること。
- ・時間配分を考えるべきである。
- ・実技時間配分をもっと長くする。
- ・実技プログラムが含まれていない。
- ・トラブルシューティングの時間配分不十分。

14. CETRAC訓練コースのレベルについて

	簡単すぎる	簡単	普通	難しい	難しすぎる
No. 1			1		
No. 2		1			
No. 3			1		
No. 4				1	
No. 5			1		
No. 6			1		
No. 7			1		
No. 8			1		
No. 9			1		
No. 10			1		
No. 11			1		
No. 12			1		
No. 13			1		
No. 14			1		
No. 15			1		
No. 16		1			
No. 17			1		
No. 18			1		
No. 19			1		
No. 20			1		
計		2	17	1	
%		10%	85%	5%	

15. 上記14に関するコメント意見

- なし

16. CETRAC訓練員の技術レベルについて

	低すぎる	低い	普通	高い	非常に高い
No. 1			1		
No. 2			1		
No. 3			1		
No. 4				1	
No. 5			1		
No. 6			1		
No. 7			1		
No. 8			1		
No. 9			1		
No. 10			1		
No. 11			1		
No. 12			1		
No. 13			1		
No. 14			1		
No. 15				1	
No. 16					
No. 17			1		
No. 18			1		
No. 19				1	
No. 20			1		
計			16	3	
%			84%	16%	

17. 上記16に関するコメント意見

- ・エンジンフェユエルシステムが十分でない。

18. CETRACのデモンストレータの技術レベルについて

	低すぎる	低い	普通	高い	非常に高い
No. 1			1		
No. 2				1	
No. 3				1	
No. 4				1	
No. 5			1		
No. 6			1		
No. 7			1		
No. 8			1		
No. 9			1		
No. 10			1		
No. 11			1		
No. 12				1	
No. 13		1			
No. 14			1		
No. 15				1	
No. 16				1	
No. 17			1		
No. 18			1		
No. 19			1		
No. 20			1		
計		1	13		6
計		5%	65%	30%	

19. 上記18に関するコメント意見

なし

22. 教材の量について

	少なすぎる	十分ではない	普通	十分である	多すぎる
No. 1				1	
No. 2					1
No. 3		1			
No. 4			1		
No. 5			1		
No. 6				1	
No. 7				1	
No. 8					1
No. 9				1	
No. 10			1		
No. 11		1			
No. 12		1			
No. 13			1		
No. 14			1		
No. 15				1	
No. 16				1	
No. 17			1		
No. 18		1			
No. 19				1	
No. 20		1			
計		5	6	7	2
%		25%	30%	35%	10%

23. 上記22に関するコメント意見

- ・メカトロに関する教材を増やしてほしい。
- ・油圧とメカトロシステムを組み合わせたコースがあれば両システムの仕組みが理解しやすい。
- ・コンピューターによる在庫管理プログラムがあれば有用である。

20. 教材の質について

	貧弱すぎる	貧弱である	普通	良い	非常に良い
No. 1				1	
No. 2				1	
No. 3				1	
No. 4				1	
No. 5				1	
No. 6				1	
No. 7				1	
No. 8			1		
No. 9					1
No. 10			1		
No. 11				1	
No. 12				1	
No. 13				1	
No. 14			1		
No. 15				1	
No. 16				1	
No. 17			1		
No. 18			1		
No. 19				1	
No. 20				1	
計			5	14	1
計			25%	70%	5%

21. 上記20に関するコメント意見

なし

2-3 BM コース受講者対象

BM コース

1. 貴社の企業形態（注：%の値は回答総数に対するものを表示）

	公営	半民半官	私企業
No. 1			1
No. 2			1
No. 3			1
No. 4			1
No. 5			1
No. 6			1
No. 7			1
No. 8			1
No. 9			1
No. 10			1
No. 11			1
No. 12			1
No. 13			1
No. 14			1
No. 15			1
No. 16			1
No. 17			1
No. 18			1
No. 19			1
No. 20			1
計			20
%			100%

2. 業務の分野

	建設	建設機械	灌漑 農業	航空・海運・港湾	その他
No. 1		1			
No. 2		1			
No. 3		1			
No. 4		1			
No. 5		1			
No. 6		1			
No. 7		1			
No. 8		1			
No. 9		1			
No. 10		1			
No. 11		1			
No. 12		1			
No. 13	1				
No. 14	1				
No. 15	1				
No. 16		1			
No. 17		1			
No. 18		1			
No. 19		1			
No. 20		1			
計	3	17			
%	15%	85%			

3. 貴方は過去においてCETRACの訓練を受けたことがありますか？

	0回	1回	2回	3回	4回以上
No. 1				1	
No. 2			1		
No. 3			1		
No. 4		1			
No. 5		1			
No. 6			1		
No. 7				1	
No. 8			1		
No. 9				1	
No. 10				1	
No. 11				1	
No. 12				1	
No. 13				1	
No. 14			1		
No. 15			1		
No. 16				1	
No. 17				1	
No. 18				1	
No. 19			1		
No. 20				1	
計		2	7	11	
%		10%	35%	55%	

4. CETRAC訓練の強いと思われる分野

	油圧機器	ロボット 電気	車台	エンジン 燃料系統	その他
No. 1				1	
No. 2				1	
No. 3				1	
No. 4				1	
No. 5			1		
No. 6				1	
No. 7				1	
No. 8	1				
No. 9	1				
No. 10	1				
No. 11	1				
No. 12	1				
No. 13	1				1
No. 14	1				
No. 15	1				
No. 16				1	
No. 17				1	
No. 18				1	
No. 19				1	
No. 20			1		
計	8		2	10	1
%	38%		10%	48%	5%

5. 上記4に関するコメント意見

なし

6. CETRAC訓練の弱いと思われる分野

	油圧機器	エンジン 電気	車台	エンジン 燃料系統	その他
No. 1	1				
No. 2	1				
No. 3	1				
No. 4	1				
No. 5	1				
No. 6	1				
No. 7		1			
No. 8			1		
No. 9				1	
No. 10					1
No. 11					1
No. 12		1			
No. 13				1	
No. 14		1			
No. 15		1			
No. 16	1				
No. 17	1				
No. 18	1				
No. 19	1	1			
No. 20	1	1			
計	11	6	1	2	2
%	50%	27%	5%	9%	9%

7. 上記6に関するコメント意見

- ・教官が他業務で忙しすぎた。
- ・燃料システムの理論・実習時間が短すぎる。
- ・油圧機器は不十分。
- ・時間不足。

8. CETRAC訓練コースプログラム（理論）の時間配分は？

	短すぎる	短い	普通	長い	長すぎる
No. 1		1			
No. 2		1			
No. 3		1			
No. 4		1			
No. 5		1			
No. 6			1		
No. 7			1		
No. 8		1			
No. 9	1				
No. 10		1			
No. 11		1			
No. 12		1			
No. 13			1		
No. 14		1			
No. 15		1			
No. 16		1			
No. 17			1		
No. 18			1		
No. 19		1			
No. 20		1			
計	1	14	5		
%	5%	70%	25%		

9. 上記8に関するコメント意見

なし

10. CETRAC訓練コースプログラム（実技）の時間配分は？

	短すぎる	短い	普通	長い	長すぎる
No. 1			1		
No. 2			1		
No. 3		1			
No. 4		1			
No. 5			1		
No. 6		1			
No. 7		1			
No. 8		1			
No. 9	1				
No. 10		1			
No. 11		1			
No. 12	1				
No. 13			1		
No. 14			1		
No. 15			1		
No. 16		1			
No. 17		1			
No. 18		1			
No. 19		1			
No. 20		1			
計	2	12	6		
%	10%	60%	30%		

11. 上記10に関するコメント意見

なし

12. CETRAC訓練コースのレベルについて

	簡単すぎる	簡単	普通	難しい	難しすぎる
No. 1			1		
No. 2			1		
No. 3			1		
No. 4			1		
No. 5			1		
No. 6			1		
No. 7			1		
No. 8			1		
No. 9			1		
No. 10			1		
No. 11			1		
No. 12			1		
No. 13			1		
No. 14			1		
No. 15			1		
No. 16			1		
No. 17			1		
No. 18			1		
No. 19			1		
No. 20			1		
計			20		
%			100%		

13. 上記12に関するコメント意見

- ・特定モジュールの時間配分が短い。

14. CETRAC指導能力・指導方法について

	低すぎる	低い	普通	高い	非常に高い
No. 1		1			
No. 2		1			
No. 3		1			
No. 4		1			
No. 5		1			
No. 6					1
No. 7			1		
No. 8				1	
No. 9			1		
No. 10		1			
No. 11			1		
No. 12			1		
No. 13				1	
No. 14			1		
No. 15			1		
No. 16			1		
No. 17			1		
No. 18			1		
No. 19			1		
No. 20			1		
計		6	11	2	1
%		30%	55%	10%	5%

15. 上記14に関するコメント意見

- ・1年次は良好。
- ・2年次は不満。
- ・25%は良くない。

16. CETRACのデモンストレータの指導能力・指導方法について

	低すぎる	低い	普通	高い	非常に高い
No. 1				1	
No. 2				1	
No. 3				1	
No. 4				1	
No. 5				1	
No. 6				1	
No. 7			1		
No. 8				1	
No. 9			1		
No. 10		1			
No. 11			1		
No. 12		1		1	
No. 13			1		
No. 14			1		
No. 15			1		
No. 16			1		
No. 17					1
No. 18			1		
No. 19			1		
No. 20				1	
計		2	9	9	1
%		10%	43%	43%	5%

17. 上記16に関するコメント意見

なし

18. 教材の質について

	貧弱すぎる	貧弱である	普通	良い	非常に良い
No. 1				1	
No. 2				1	
No. 3				1	
No. 4				1	
No. 5				1	
No. 6		1			
No. 7			1		
No. 8			1		
No. 9				1	
No. 10		1			
No. 11				1	
No. 12				1	
No. 13				1	
No. 14					1
No. 15					1
No. 16				1	
No. 17					1
No. 18					1
No. 19			1		
No. 20					1
計		2	3	10	5
%		10%	15%	50%	25%

19. 上記18に関するコメント意見

- ・教材は英文とすべきである（部品名だけでも）
- ・技術用語は英語表記にすべきである。

20. 教材の量について

	少なすぎる	十分ではない	普通	十分である	多すぎる
No. 1				1	
No. 2				1	
No. 3				1	
No. 4				1	
No. 5				1	
No. 6				1	
No. 7				1	
No. 8				1	
No. 9			1		
No. 10			1		
No. 11				1	
No. 12			1		
No. 13				1	
No. 14				1	
No. 15				1	
No. 16				1	
No. 17				1	
No. 18				1	
No. 19				1	
No. 20				1	
計			3	17	
%			15%	85%	

21. 上記20に関するコメント意見

なし

22. CETRACの施設/機材の質について

	貧弱すぎる	貧弱である	普通	良い	非常に良い
No. 1					1
No. 2					1
No. 3				1	
No. 4					1
No. 5				1	
No. 6					1
No. 7				1	
No. 8					1
No. 9				1	
No. 10					1
No. 11					1
No. 12					1
No. 13				1	
No. 14				1	
No. 15				1	
No. 16					1
No. 17					1
No. 18					1
No. 19					1
No. 20				1	
計				8	12
%				40%	60%